SOS 子どもの村 JAPAN
すべての子どもに愛ある家庭を

◆平成30年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業
◆後援：福岡市

ＳＯＳ子どもの村ＪＡＰＡＮ主催　2018年度第2回公開研修会
～家族と暮せない子どもや、困難を抱えた子どもたちのために～

幼少期の心の傷と身体の関係
～レジリエンスに繋げるには～

【キーワード：トラウマ、子どもの発達、レジリエンス】

講師：**安元佐和**　（福岡大学医学部医学教育推進講座 主任教授･小児科医）

貧困や親の病気、近年増え続ける児童虐待、育児放棄など、様々な理由で家族と暮らせない子どもたちが増え続けています。すべての子どもが、家庭のなかで豊かな子ども時代を送ることができるよう、地域で子どもたちを支える市民のための研修会です。

このような方は、
ぜひご参加ください

「里親に関心がある」
「子どもの村について知りたい」
「子どものために何かしたい」
「子どもの権利を大事に支援をしたい」

日時：2018年 11月11日(日)
13：30～16：00（受付開始：13：00）

場所：福岡市こども総合相談センター7F
（福岡市中央区地行浜2-1-28）
※会場の駐車場はご利用できません。公共交通機関をご利用下さい。

- 定　員：50名
- 受講料：1,000円※学生、支援会員･ マンスリー支援会員無料
- 託　児：1人500円

≪お問合せ先≫
(特)ＳＯＳ子どもの村ＪＡＰＡＮ 事務局
Tel.092-737-8655　Fax.092-737-8665　E-mail.senmon@sosjapan.org

≪研修プログラム≫

13：30～14：30　（レクチャー）

「幼少期の心の傷と身体の関係
~レジリエンスに繋げるには~」

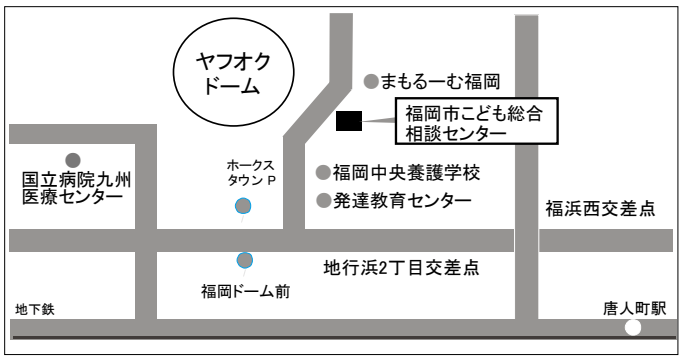
幼少期の子どもにとって、心の傷とは何か、それがどう子どもに影響を与えていくのか、特に身体の関係から学んで行きます。そのことを踏まえ、個人が持つ立ち直る力(レジリエンス)にいかに繋いでいくかを学びます。

14：45～15：45　（グループトーク）

「私たちにできること」

子どもの村スタッフや専門家チームメンバーが、皆さんの質問にお応えしたり、SOS子どもの村に関するホットな情報をお伝えしたり、お茶を飲みながらの気軽でざっくばらんな交流グループトークです。

≪アクセス≫



会場の駐車場はご利用できません。
公共交通機関をご利用ください。

- 地下鉄 唐人町駅　徒歩15分
- 西鉄バス 福岡ドーム前　徒歩5分
- お車でお越しの方は、周辺の有料駐車場をご利用ください。ドームでのイベント時にはご注意ください。

–No Child Should Grow Up Alone–

SOS子どもの村JAPANは、家族と暮せない子どもたちと、その危機にある子どもと家族を支援する団体です。親の病気や貧困、虐待や育児放棄など様々な理由で家族と暮らせない子どもたちを、家庭の中で、地域とともに育てる「子どもの村福岡」を運営するとともに、福岡市子ども家庭支援センター「SOS子どもの村」で地域で困難を抱えた子どもと家族を支援しています。

ＳＯＳ子どもの村インターナショナルは、「すべての子どもに愛ある家庭を」をスローガンに、1949年第2次世界大戦後のオーストリアで始まり、戦争で親を失った子どもたちのための活動は、戦争や災害、エイズなど各国の状況を背景に世界134ケ国に広がりました。現在、子どもの権利尊重を核として、様々な活動を展開する子どもに関する世界最大級のＮＧＯです。

≪参加申込≫

QRコードから簡単申込が可能です！⇒

* 定員に達するまでは特に受付連絡はいたしません。

FAX：092-737-8665　E-mail：senmon@sosjapan.org

➢ 託児のお申込み締切は、11月2日までです。

ふりがな		所属	
氏　名			
E-mail			
どこで知りましたか？	□メール　□SNS(Facebookなど)　□ネット検索　□ブログ □チラシ　□口コミ　□その他（　　）		
関心のポイントは？	□NPO法人としての運営全般　□子どもの村福岡の養育 □里親　□児童福祉　□スタッフ募集　□ボランティア活動		
託児希望	□希望します　子どもの人数＿＿＿人 年齢・性別＿＿＿才男・女　＿＿＿才男・女　＿＿＿才男・女		